

神戸大学生が大山地域の農家に「弟子入り」

神戸大学生が農家に「弟子入り」して農作業や農家の暮らしを体験する学習がスタートしました。

受入農家は15軒で42人の学生が9班に分かれ、それぞれの農家の指示に基づき農作業等に取り組んでいただきます。

第一回目は、受入農家との顔合わせと地域の歴史に触れていただくため、追手神社や追入集落の町並み、国内最古の明治トンネルを通り麓で鬼の架け橋、金山城について郷協の渡辺拓道氏より説明いただき、昼食は「結良里」さんに作っていただいた伝承料理「とふめし」と豚汁をふるまっていただきました。



追入集落の町並み



昭和トンネル前を通り明治トンネルへ
(丹波篠山市側)



明治トンネル出口（丹波市側）

今後は、黒大豆や水稻、野菜などの栽培を計4回実習して来年1月23日に成果発表会が計画されています。

受入農家の皆様には色々とお世話になりますが、学生の指導等よろしくお願ひします。



受入農家との顔合せ



地域おこし協力隊 間さんによる竹炭づくり